



雪柳こぼれ出でたる垣根かな

プロの句

- ・菜の花や月は東に日は西に 蕪村
- ・ふだん着でふだんの心桃の花 綾子
- ・水の地球すこしはなれて春の月 正木ゆう子
- ・バスを待ち大路の春をうたがはず 波郷
- ・春の夜のわれをよるこび歩きけり 草城
- ・花しどみ妻には妻の歩幅あり 福永耕二
- ・葉桜の中の無数の空さわぐ 篠原梵
- ・春惜しおおんすがたこそとこしなへ 秋桜子
- ・行春を近江の人とおしみける 芭蕉

アマチュアの句

- ・熊手搔く砂音軽し春立ちぬ
- ・はだか木の根もとあたりのやはらぎぬ
- ・石段を駆くる長脚春近し
- ・草萌を駆けては戻る人ひとり
- ・春寒や顔伏し手あげ祈る人
- ・そばにきてそつとたたずむ雛のころ
- ・野川へと春分の日沈みけり
- ・花御堂世界の児等はいかならん
こら
- ・桑の実に少年の日の渴きかな